

人口の動き
昭和39年(1月1日現在)

◎世帯数	4,920
人口	19,485人
男	9,107人
女	10,378人

38.12月中の出生 死亡

区分	出生	死亡	増減
男	20	9	11
女	10	8	2
計	30	17	13



発行所 鹿兒島県始良郡加治木町役場 (一戸一枚配付)
 発行人 曾木隆輝 編集人 中元邦夫 印刷所 吉屋印刷所

加治木町を美しく

町民みなでおしすすめよう

三 ない 運 動

1. ち ら さ な い い
2. よ ご さ さ な い い
3. こ わ さ さ な い い

主唱 町・町公民館・町婦人会

年頭の御挨拶

町長 曾木隆輝

町民の皆さん、謹んで新春のおよろこびを申し上げます。昨年中はいろいろお世話様になりましたことをお礼申し上げます。あわただしい一年でも、世界的にも日本でも、また、本町としても忘れてはならない出来事もありました。各種の選挙が行なわれ民主政治の基礎も次第に固まりました。経済伸張によつて町民の方々の収入面も或る程度の増長は見られたと信じます。しかし、物価が高くなりまして、諸雑費も増えたため生活の苦しくなられた方も多いうです。それでも、めげずに努力して下さいましたことに敬意を表します。

暗いニュースも次々に伝えられました。本町においては最も記念すべきことは、明治乳業さんが進出に決定し、地主の方々や耕作者の方々の御協力をいただくことが出来たことです。一方協和工場の閉鎖は残念なことでした。各方面の御協力を得て、準備の一つが止まるようになりまして、学校や橋の整備が進みたり、農家収入も相当上り、商店も年末には、割りに売れ

行きもよかつたことも本町の発展上うれしいことでした。新年を迎え、私たち町役場としては年度内の残つた仕事を片づけたり、また三十九年度の計画を立案したり大変です。私共は一事一事に全力をそそぐ心構えで元旦の計を立てました。ことしは町税を少しでも下げるような工夫をせねばなりません。しかし、やらねばならない仕事、お金のかかる仕事は昨年よりも増えてまいります。ここらでどうさばくかが問題です。

皆様と共に精一杯働きましよう。広域行政とか、広域経済とかの問題も出て来ております。遠からず大鹿児島に一括される時代が来ると信じますが、そんな場合加治木町が片隅の寒村にならぬよう、むしろ他をリードする様な加治木にしたいと努力せねばならぬと思います。又、今年はおリンピックの年ですので、選手だけでなくみんながかんばらねばならない年でしょう。

町民の皆様も御幸福に本年をお過しください。町政にも倍旧の御協力をお願い申し上げます。

加治木町の皆さん、新年おめでとございます。新しい年が明けると誰れしも一度は先入観や偏見を去り、心を清々して既往を顧み、将来を考へるものであります。

思うに過去一年において、世界平和の一応の軌道がしかれ明るい希望と期待をもつて新年を迎えたことは、まことに喜ばしく、更にまたオリンピック大会が東京で開かれ、世界と日本について思いを新たにし、民族精神の再建を図らねばならぬ世紀の年であることに思いを走らせます。時に我々町民も又、これに無関心では居られないと考へる次第であります。

私共は日本のおかれた現実を深く認識して加治木町の未来像をしっかりと頭に描いて対処し、この急テンポの世界の進運の「パス」に乗り遅れない様にしたいたいのだと存じます。わが加治木町議会におきましてもこの重大なる時機に当りまして、いよいよ政策研究の意欲と環境を生み出す気風を作り事の価値判断を誤ることなく町執行部と協力して町民の福祉増進に努め、明るい加治木町の建設に邁進したいものだと念じております。

由来、加治木町には先輩の遺された美しい歴史と伝統が

ありますと共に、改むべき旧来の陋習もまた存在する様に思いますので、ここに新しい時代に応ずる加治木町風を打ち立てて辰の年にふさわしく皆さんと共に蚊龍池の中を出でたる如く生々飛躍の年といいたく決意を新にする次第であります。

私は町民の皆さんが今年一年間を通じて御健康で幸福にお過しなさいます様心からお祈りいたしまして年頭の御挨拶といたします。

新年
おめでと
う
ございます
加治木町職員一同

- 香典返しを寄附
社協たすけあい資金へ
- 一金参千円也 (萩原) 竹下つな殿
 - 一金参千円也 (上新道) 大童 伝殿
 - 一金参千円也 (口之町) 西 親志殿
 - 一金五千円也 (札立) 前田国友殿
 - 一金千円也 (仮屋町) 原田 稔殿
 - 一金千円也 (田中) 柚木クラ殿
 - 金貳千円也 (本町) 小杉恒右衛門殿
 - 一金貳千円也 (須崎) 郡山景二殿
 - 一金参千円也 (辺川) 大宮路篤男殿

ことわり
前号本田親治殿とありましたのは、本田親行殿の誤字でしたので訂正いたします。
(町社会福祉協議会)

町育英会へ
一金五千円也 (楠園) 宮田 実殿

宮田さんは、昨年12月末まで町教育委員会庶務課長在職中町の奨学資金制度に特力を入れてきたが、今回退職に際し、奨学資金の一助に役立てばという心づくしから寄せられたもの。ご厚意有難うございました。

造林の必要性

造林の申込みは早目に

最近森林所有者の声に木材の将来について聞かれますが、国が示した林産物需給等に、関する長期見通しによると、昭和四十七年頃には、現在の六百七十七万立方メートルの増に、昭和六十年頃には、現在のほぼ二倍になる見込みで、用材の中でも、重要な建築部門は昭和四十七年頃でも、現在の二十倍ぐらいいで、パルプ等の部門では、それぞれ七〇%から二六〇%も増加することになっていきます。

これからの木材の用途は、開拓され相変らず不足する状態がつづくと思われまます。

そこで、県に於いても拡大造林を呼びかけ造林補助事業を実施しているのです。

造林補助事業とは

知事が認めた苗又は、自家生産された苗木の基準に、したがって植付けられた森林は申請することによって、補助金を受けることができます。面積の最低基準は五アール以上です。

又、今年から植栽時の肥料も補助対象となりました。

適地、適木について
造林するには一番重要な

樹種	一位	置	主な植生
スギ	山腹下部	アオイ	イヌビワ
谷間	ウツギ	クマイチゴ	カツデ
ツツブキ			
ヒノキ	山腹中部	ウラジロシ	
北東部	アカメガシ		
斜面	キイチゴ		
ヤマメウガ			
マツ	山腹上部	ユシダ	
尾根筋	ツバキ	コナラ	

以上造林について簡単に述べましたが、造林の準備は早目に完了され、良い苗を適期に植栽することによって、よい造林地が出来ますので、造林に對しての御相談は町役場又は、森林組合へおいでください。

文部省指定 田中婦人学級 研究会開く

昭和37年度から38年度の二年間に亘り文部省の研究指定を受けた田中婦人学級では、主婦の自由時間の設計と家庭生活の合理化を目標に、学級を全体学習とグループ(生活改善、花卉、洋裁、生花、手芸)学習に編成して熱心に勉強しているが、来る1月22日午前10時から同指定学級である蒲生町北地区婦人学級と合同の研究会を田中公民館で開くことになった。ねらいは婦人学級の学習をよりいっそう深化するための研究会で当日は県教育委員会、郡教育事務所、町公民館からの助言

納税にご協力を

1月の納税

県民・町民税4期分と
国民健康保険税4期分です。

納期～1月31日まで。

△目標額 金五万円也
△収入額 金五万五千九百六拾五円也

有難うございました

歳末助け合い募金結果

他に衣類十三点
△支出額 金五万九百八拾五円也
一、残額金四千九百八拾円也
この中で、特に、加治木町婦人会の五千円、加中厚生部の三千円等の高額寄付がありました。以上を以て厚くお礼申し上げます。
(町社会福祉協議会)

あぶない

素人の電気扱い

悲惨な電気事故が私達の身近かなところで起らぬように注意しましょう。

●素人による電気事故修理は危険です。特に、電柱に昇ることは止めて下さい。

●電線が垂れ下っている時は、近くの九州電力へお知らせ下さい。これに障ると危険です。注意して下さい。

●無断電気工事、電気器具の無断使用、開閉器に針金取付、ビニルコード使用は火災のもとになる事がありますのでおやめになつて下さい。

●家屋改築等による電線取り外し、取り付けや、電線路近くの伐木は危険です。九州電力の指示の下で実施して下さい。

●牛馬を電柱につなぐことは危険です。やらめて下さい。電線や碍子、電柱札に石を投げないで下さい。

●電線近くのテレビアンテナが倒れ、事故発生の実例がありますので移転しましょう。

九州電力では、夏季安全期間に引続き昭和38年12月より昭和39年1月末日までを冬期安全期間と定め各種の安全運動行事を実施しますので、電気災害防止に一層の御協力をお願いします。

新一年生の健康診断

今年四月六日就学の小学校一年生の健康診断を、来る二月十日から十五日までの六日間各小学校区毎に実施します。この健康診断は子どものよりよい就学のために行なわれるもので、特別な準備などいっさい不必要ですが、次の点に留意してください。

①子どもの身体や衣服をなるべく清潔にして来て下さい。

②保護者又はこれに代る付添いの人は子どもの主な既往症と、種とう、ジフテリアなど予防接種を受けた年月が答えられるようにして来て下さい。

③当日は中食を御持参ください。

寄稿

「詩」 永田竜門洞

我生れし木田を徘徊

39年 元旦

竹下川に沿うて行く
河は 近代工学に 無惨
あのセセラギもあの淵も
今はない 自由奔放に躍つ
ていた
魚族は今戦々競々として
隠家もない

東の方 × × ×
百雷轟きし 竜門滝は

夜来の 雨に
三筋の白糸を たらし
遙 南 火の山 桜岳は
ほのかに 白煙をあげてい
る
誰か感なきや
この地 故里
× × ×
実窓寺川原に立てば
君に殉ぜし 兵の碑
ただ 苔むして
訪れる 客もない
在りし 老松も 今はなく
ただ 雑草の中に
徒に 年月を 重ねいく
(日本詩社同人) 39年元旦